

するめイカ

日本の風の会 大阪
2011.6. 1改

するめイカは、昔から大阪の空に揚げられていました。

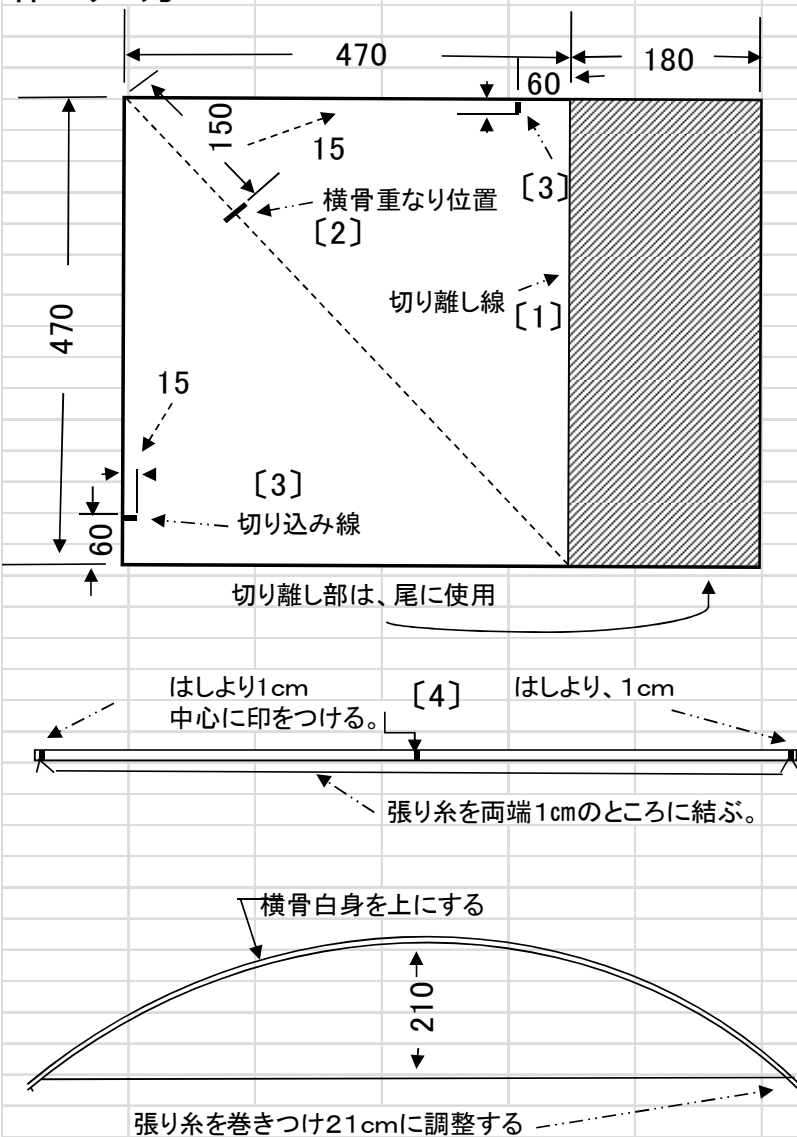
材料

道具

丈夫な和紙	470mm×650mm	1枚
竹骨 たて	幅5mm×厚2mm×長700mm	1本
よこ	幅5mm×厚2mm×860mm	2本
凧糸	長さ4m	1本

鉛筆	ナイフ	直尺[30cm以上]
木工ボンド	毛糸針	はさみ

作り方



[1] 和紙を点線上を中心に折り正方形をつくり
切り離し線を記入し線に沿ってはさみで切る。

[2] 正方形の裏面に、点線上はしより15cmの
所に鉛筆で線を入れる。(横たて骨の交差位置)

[3] 左右端より6cmの位置幅1.5cmの線を記入し
線にそって1.5cmはさみで切込みを入れる。

[4] 横骨中央に印を入れ、両端より1cmの所にも
印をいれる。
片方の端より1cmの所に張り糸を巻きつけ
結び、もう一方に結ぶ。糸はしは、1~2cm
両方とも残しきる。結び目にボンドをつける。

[5] よこ骨の片方どちらか端に張り糸を巻き取り
中央部の寸法を21cmにし、ボンドをつける。
横骨の白身を上になるように巻くこと。

お願い

本テキストを使用する場合は、作成者を「日本の風の会 大阪」と明記の上ご使用、または、当会の許可を得てください。